

II 花き(切花)情報

7月(中旬)までの経過

6月下旬は、全国的な気温の上昇により出荷量減、さらに購買意欲減となり前年割れとなった。7月初旬まで影響が及んだが、中旬の盆需要により回復した。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	6月中旬までは前年、平年より上回ったが、下旬から7月上旬にかけて高温の影響により下回った。7月中旬には盆需要に向けて出荷があり、前年、平年を上回った。
相場	品薄による高値が6月中旬まで続いたが、全国的な気温の上昇による購買意欲の低下によって6月下旬は前年割れとなった。7月中旬の盆需要にかけて持ち直した。
動向	全体的に春から続く品薄による単価高が夏場に至っても続いている。天候による影響もあるが、コロナ禍で落ち込んだ需要は回復している。

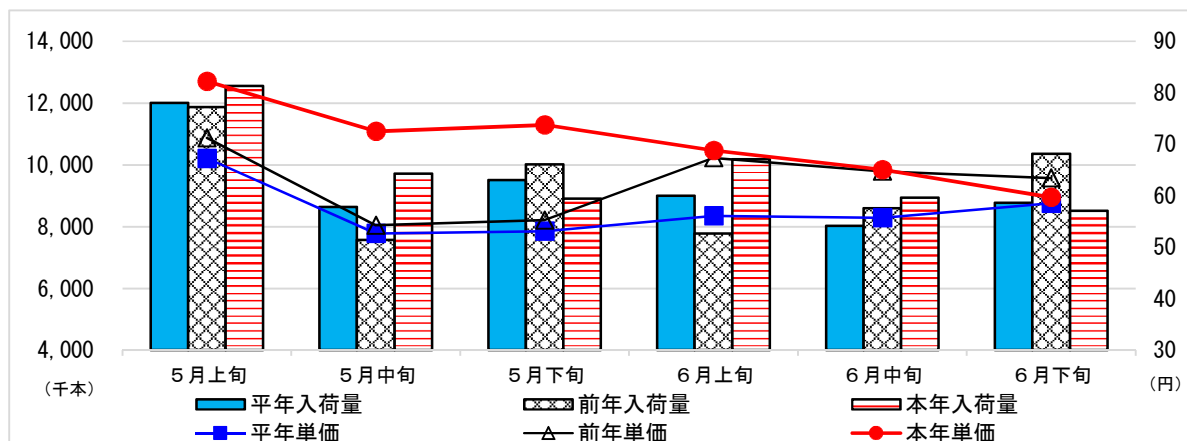
品目別経過

品目	経過
SPキク	株大田花き 各産地需要期に向けて概ね十分量出荷されたが、高冷地、暖地ともに前進しており、需要期後半で不足感が出た。
トルコキキョウ	株世田谷花き 西南暖地の出荷が終了したが、千葉、長野、福島が最盛期を迎え、潤沢だった。
ヒマワリ	株大田花き 各産地とも生育は順調で、数量は潤沢だった。品種は八重、芯白系が中心となった。

8月の見通し

品目	見通し
輪ギク	株世田谷花き 今後の天候にもよるが、入荷は昨年並み、相場は保合から強保合の見込み。
コギク	株フラワーオークションジャパン 秋田中心に茨城等から入荷予定。8月盆に向けた出荷が集中する見込み。後半は色のバランスが不安定になる見込み。
カーネーション	株フラワーオークションジャパン 北海道、長野より入荷予定。数量のピークは北海道で前進し、長野で後ろにずれ込む見込み。

6月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均